



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

イスラエル・パレスチナ：5日間の停戦延長に合意

イスラエルとパレスチナは、14日午前0時（日本時間午前6時）から5日間の一時停戦に合意した。13日、カイロを訪問中のパレスチナ側代表団が停戦延長を発表した。イスラエル側の発表はなかったが、14日、CNNはイスラエル側も停戦延長を確認したと報道している。11日午前0時から開始された72時間の一時停戦期間が切れる約2時間前（現地時間13日午後10時）に、ガザからロケット弾約7発が発射され、イスラエル軍が報復の空爆を行ったが、その他の戦闘は報道されていない。ロケット弾発射については、ハマースではない小さな武装組織が発射したと声明した。イスラエルは、停戦延長に同意しているが、ガザ付近への地上部隊の再配備を開始している。

カイロを訪問していたイスラエル代表団は、13日に帰国した。パレスチナ自治政府の代表団メンバーは、14日に一度西岸に帰り、アッバース大統領と協議を行い、16日からカイロで停戦交渉を再開すると報道されている。

評価

イスラエルとパレスチナが、5日間の一時停戦延長に合意したのは、協議で一定の進展があったことを示唆している。13日、エジプトは、段階的にガザ封鎖を解除する案を双方に示したと報道された。イスラエルは、ガザに物資を搬入するトラックの台数の増加、ガザ漁民が沖合で操業できる海域の拡大、西岸とガザの移動緩和など小規模の封鎖緩和に合意したようである。しかし、ハマースが主張する本格的な封鎖解除（イスラエルとガザとの国境事務所の再開）についてはまだ合意に至っていないようだ。パレスチナ側は、エジプトとラファ境界事務所の再開を別途協議している。エジプトは、境界の管理をパレスチナ自治政府が行うことを求めているようだ。

関連するかわら版は以下をご参照願います。

「イスラエル・パレスチナ：2度目の72時間停戦」 No. 109 (2014/8/11)

<http://www.mei.j.or.jp/members/kawaraban/20140811155918000000.pdf>

（中島主席研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799